

## 令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年4月30日

団体所在地 広島県廿日市市串戸2丁目13-3  
団体の名称 社会福祉法人 にこぶらす  
職・氏名 園長 埜 良治  
(施設名 公私連携型保育所 串戸保育園)

### 1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・極楽寺山、散策
- ・公園散策
- ・夏野菜植え
- ・さつまいも植え
- ・梅の収穫
- ・梅干し作り
- ・梅ジュース作り

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・川遊び

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・お泊まり保育(宮島)
- ・公園散策
- ・芋ほり
- ・焼き芋
- ・登山
- ・火起こし

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・アグリファーム(牧場)で雪遊び
- ・雪遊び
- ・登山
- ・公園散策
- ・火起こし
- ・飯盒炊飯

## 活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

### 【4月～6月】

#### (写真)



#### (エピソード記述)

○梅の収穫→梅干し&梅ジュース作り

・借りている畑に梅の木があり、子ども達が梅の実が実っていることに気づき、保育者と一緒に木に登ったりして収穫をした。収穫した梅の実を触ったり、匂ったり「いい匂いがする」や「まだ緑色だね」など話が盛り上がり、「この収穫した梅はどうするか!？」の話し合いが始まった。

話し合いの結果、梅干しと梅ジュースを作ることになった。

作り方を保育者と一緒に学び、選別、洗浄、漬け込み等をグループに分かれて作業をした。

梅を瓶詰めにし、出来上がるのを待つ。

子ども達が漬け込んだ瓶を時折眺め、「色が変わってる」や「なんか変な匂いがする」など色々な発言があった。

梅干しと梅ジュースが出来上がると、梅干しは園庭で火を起こし、ご飯を炊いて、梅干し入りのおむすびを作ってみんなで食べた。

梅ジュースは年長児が中心となってジュース屋さんを開き、在園児に振る舞った。

子ども達が収穫した梅が梅干しやジュースに変わる過程を間近で見ることができ、子ども達の好奇心が高まり、また「これは何？」や「これは食べれる？」など自然物への興味関心が深まったように感じた。

### 【7月～9月】

#### (写真)



#### (エピソード記述)

○川遊び

・夏になると年中・年長組は近くの川に遊びに行っている。

プールとは違い川に遊びに行く日の子ども達のテンションは高く、とても楽しみにしている姿が見られた。川に着くと安全の為にライフジャケットを着用し川に入る準備をする。(保育者は必ず一人ひとりのライフジャケットが確実に着用出来ているか確認をする)

子ども達の中にはすぐに「川に入りたい」と言う子もいるが、保育者が川に入る前にはもう一度、子どもたちと約束事を確認し「川には深い場所や浅い場所がある」などを話した後、川に入ると「冷たい」や「気持ちいい」など楽しそうな子ども達の声が聞こえてきた。川遊びが苦手な子は、浅瀬で石をひっくり返したりして、カニや水辺の生物を探し、見つけると嬉しそうに「何かいた」や「これ見て」など声を掛け、それを聞いた別の友達がその遊びに加わり、遊びが大きく展開していった。

川遊びに限らず活動の中で子ども一人ひとりがやりたいことを見つけそれに集中して遊び込める環境を保育者は準備することが大切で、その積み重ねが子ども達の成長に必要なだと感じた。

今年は出来なかったが園のプールではできない活動(カヤック)なども子ども達に体験してもらいたいののでまた計画を立てていきたい。

## 【10月～12月】

### (写真)



### (エピソード記述)

#### ○お泊まり保育(宮島)

・年長組になると宮島のキャンプ場のコテージにお泊まり保育に行っている。

お泊まり保育では大きく分けて、「登山・火起こし・クッキング」を行うが、お泊まり保育までの日々の活動の中で登山・火起こし・クッキングを子ども達が経験し、お泊り保育で一人ひとりが自信ややる気をもって取り組めるように計画を立てていった。

当日は年長組30人が午前中、宮島の弥山登山に挑戦した。

個々が自分で登るペースを考え、保育者と一緒に山頂を目指した。

「まだ大丈夫」や「00ちゃん頑張れ」など友達を思いやる言葉を行っている姿が見られた。途中で雨が降ったり、雷が鳴ったりと悪天候に見舞われたが保育者間で密に連携をして安全に全員が登頂、下山することができた。山頂でおむすびを美味しく食べる子どもたちの笑顔は輝いていて素敵だった。

夕方からは夕食のカレーを作るために子ども達がやりたい、火起こしとクッキングのグループに分かれて活動を行った。

火起こしではリーダーとなる子を中心に枝木や枯れ葉を集めた。

「もっと細い木を持ってきて」や「これはここに積み重ねよう」など今までの経験を生かして火起こしをしていた。

クッキングでは包丁やピーラーを使うのでふざけないと言う約束を守り、真剣に切ったり、皮をむいていた。難しい所は「先生、手伝って」と声をかけ、保育者と一緒に取り組んでいた。

みんながそれぞれ頑張り、夕食は美味しいカレーができ、たくさん食べて満足そうだった。

お泊まり保育では子ども達が今まで自然保育の中で経験、体験をしてきたことを生かして子ども達の「生きる力」を育てていけると感じた。

## 【1月～3月】

### (写真)



### (エピソード記述)

#### ○雪遊び

廿日市市中心部にある串戸保育園ではここ最近暖冬の影響で雪が積もることが少なくなってきた。

冬の遊びの中でも楽しみの一つの雪遊びがこの園庭ではあまり出来ないのが現状である。なら園バスを所有している串戸保育園の強みを生かして、雪が積もる山間部へ子ども達と一緒に遊びに行くことにした。

園バスに乗って山間部に近付くにつれ、道端に雪がちらほらと出現!「雪だ!雪がある!」とみんな大騒ぎ。

目的地に着くと見渡す限り銀世界でみんなのテンションはMAX。

雪の中を走りまわり、雪の中に自分の足跡を残す子や定番の雪だるまを作る子などみんな思い思いの雪遊びを楽しんでいた。

その中で雪だるまを作っていた一人の子が「この雪だるまをもっと大きくしたい」と言ってきました。それを聞いた保育者は一緒になって雪玉をころころ。どんどん大きくなっていったが、二人の力だけでは雪玉が重くて転がすことが出来なくなってしまった。それに気付いた子が一人、また一人と「すごい!私もやる」と雪だるまを作ることに協力してくれて大きな雪だるまが完成しました。

遊びの中で友達同士で協力したり、相手の事を気遣ったり、自然とできるようになっているなど子ども達の成長を感じた1日でした。



## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について  
（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）
- ・ メディックファーストエイド（救急法）の取得
- ・ 園で自然保育実践者の募集（コンポストやグリーンカーテンなど） → 実践者活動報告、発表
- ・ 法人全体での自然保育の園内研修
- ・ 地域との関わりについて  
（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）
- ・ 地域の方と焼き芋作り
- ・ 地域の方に指導して頂き、田植えや稲刈り体験
- ・ 保護者との関わりについて  
（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）
- ・ 保育参観などで保護者も自然活動体験
- ・ その他

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	ホームページ <a href="https://www.nikoplus.jp">https://www.nikoplus.jp</a> Instagram <a href="https://www.instagram.com/nikoplus?igsh=YTM0NmRqNDlobTE1&amp;utm_source=qr">https://www.instagram.com/nikoplus?igsh=YTM0NmRqNDlobTE1&amp;utm_source=qr</a> ティックトック <a href="https://www.tiktok.com/@nikoplus?t=8lx3BcxBzwl&amp;r=1">https://www.tiktok.com/@nikoplus?t=8lx3BcxBzwl&amp;r=1</a> 公式ライン <a href="https://lin.ee/xOzeKOi">https://lin.ee/xOzeKOi</a>
-----	--